



○漁業就業者フェア開催

7 月 20 日に竹芝桟橋手前の都立産業貿易センタービルにて漁業就業支援フェアが開催されました。東京都と漁連は共同で東京フィッシャーズナビとして総合案内を行い、新島、神津島、三宅島、父島、母島の各島の漁協若しくは船主さんが、ブースを設けて漁業就業に向けての説明や質問に対応しました。

今回は来場者数が去年の 1.5 倍の 257 人、東京の各ブースには延べ 55 人の方が、将来の就業に向けて説明に耳を傾けました。

将来の島の漁業を担う人と出会えることを祈念しております。



○浜プラン担当者会議(Web)に出席

水産庁、全漁連主催の標記会議が 7 月 28 日に終日開催され、水産庁から、年間の取組を評価・分析し、今後の取組へ活かす手法の参考例の説明、全漁連から全国の浜プランの取組紹介と、横展開等について説明・紹介がありました。

優良事例集等は、全漁連 HP

(<https://hama-p.jp/>) からダウンロードできます。

○漁連・信連専務・参事・指導担当部課長会

8 月 4 日に Web で表記会議が開催されました。国の来年度予算にかかる要望をはじめ、全 8 項目について報告・説明がありました。

特に、先日メキシコの突然の反対により合意できなかった、来年以降の漁獲枠増大について、その後の調整によりメキシコの合意がとれたため、タイトなスケジュールの中、再度 WCPFC 北小委員会と IATTC の合同作業部会開催の調整を行っている旨の報告がありました。(その後、8 月 18 日に合同作業部会で合意の報道がなされました。12 月の最終決定が望まれます。)

また、現在漁業では常時使用労働者数 5 人未満の個人事業について労災保険の加入は任意となっていますが、今後 5 年以内の政令で定める日以降は必須となります。

外国人材活用にかかる技能実習制度の見直しについての説明もありました。

○東京都広域水産業再生委員会を開催

9 月 28 日に第 1 回東京都広域水産業再生委員会が開催され「浜の活力再生広域プラン達成状況中間報告書の確認」「漁船リース事業実施者の事業評価」の 2 議案が審議されました。

中間報告の対象は、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島、小笠原父島、母島の各再生委員会です。達成目標である R7 年度の魚価は基準年 (R2～R5) の平均の 18%アップ、正組合員は 18 名の減少でした。また、漁船リース事業実施者 4 名の R7 年度の所得実績が順調であることを確認いただきました。

○ブランド化推進委員会を開催

9 月 30 日にクロマグロを皮切りに、東京産水産物のブランド化を推進するための話し合いが、各島組合長、漁連、水産課、豊洲荷受け(東都水産、築地魚市場)により開始されました。

「市場で評価される魚の出荷を目指して取り組みましょう！」

○流通センター取扱実績報告（7－9 月期）

7－9 月期	令和 8 年度			令和 7 年度			備 考
魚種	取扱 数量 (トン)	金額 (百万円) (税込)	単価 (円) (A)	取扱 数量 (トン)	金額 (百万円) (税込)	単価 (円) (B)	前年差(円) A-B=C 単価前年比 (%) A/B*100
キンメダイ	151.9	293.4	1,932	176.3	262.2	1,487	445 129.9
メダイ	8.7	8.4	951	14.9	11.5	776	175 122.6
キハダ	9.6	9.5	984	1.3	0.9	694	290 141.8
オナガ	25.9	47.8	1,842	26.5	42.5	1,603	239 114.9
ムツ	0.4	0.8	2,031	2.1	4.3	2,074	-43 97.9
クロマグロ (大型魚)	0	0	0	0.0	0.0	0	0 0.0
クロマグロ (小型魚)	0	0	0	0.0	0.0	0	0 0.0
そ の 他	35.9	36.1	1,005	50.1	41.3	823	182 122.1
合 計	232.4	396.0		271.2	362.7	—	—

魚種	令和 8 年度		
	数量 (t)	金額(百万円・税込)	単価 (円/kg)
キンメダイ	228.0	423.2	1,856
メダイ	12.2	11.0	905
キハダ	64.6	55.4	857
オナガ	56.2	101.9	1,813
ムツ	0.8	1.8	2,125
そ の 他	138.5	123.0	888
合 計	500.3	716.3	1,432

《編集・発行》 都漁連指導室

TEL 03-3458-4236

e-mail shidoo@tokyo-gyoren.or.jp